

岐阜新聞真学塾

出題 蟻雪ゼミナール

岐阜駅前校・山本淳史



英語はとても面白い言語です。英語の「なぜ？」を解決するヒントを伝えていきます。

問題【英語】

次の発言に対する適切な応答を英語で考えてみましょう。

Hey, how are you doing ?

豆知識 雑学コラム

表現の幅は無限大

How are you? と聞かれれば、I'm fine, thank you! と答える。皆さんはこのように丸暗記で英語を勉強していませんか？ そうしていたら、今回のように、How are you doing? と少し形が変わると、返答が思い浮かばなかったのではないでしょか。一つの表現しか知らないと、それ以外の表現に出会ったときに対処できなくなるので、表現の幅を広げることが英語学習では大事です。例えば、挨拶でよく使われる表現は、以下のようにたくさんあります。

英語の表現	日本語訳
• How are you ?	お元気ですか？
• How are you doing ?	元気ですか？
• What's up ? • How's it going ? • How's everything going ? • What have you been up to ?	元気？
• How have you been ?	元気でやってた？
• How's everything ?	元気にやってる？

これらのフレーズに対する応答としては、Not bad. (まあまあ)、Pretty good. (いい感じ)、Great. (とてもよい)などがあります。

では、言語学習において、丸暗記はダメなのでしょうか。決してそんなことはありません。英単語も語源や意味の違いなど、理論的なことはある程度まで暗記をしたうえで、改めて、この単語とこの単語は似ていると分かるようになったりするものです。仮に、100語しか英単語を知らなかったら、その単語の語源や他の単語との関連性を見出すのは難しいですよね。それを1000語、2000語と増やしていくってやっと他の単語と比較をしたり、語源を確かめたりすることができるようになってきます。

今回紹介した挨拶の表現はごく一部です。他にもまだたくさんあります。表現の幅を広げることで、テストでの「言い換え」問題に強くなります。表現の幅は無限大です。ぜひ皆さんも普段から様々な表現を意識して英語を勉強してください。

【解答】

Pretty good.
Not bad.
Great.
好也。